

若者の投票率UP!プロジェクト

TEAM DATA	メンバーナンバー	6名
	活動場所	伊勢市、玉城町
	実施主体	伊勢市選舉管理委員會 玉城町選舉管理委員會 三重県選舉管理委員會
	担当教員	富永 健 (現代日本社会学部)
	活動年度	R02

1年活動まとめ・考察(成果と課題)

本活動では伊勢市選管委員会、玉城町選管委員会、三重県選管委員会と協力しています。今理委員会、投票率を上げるための取り組みを行っています。今までの開催年度は新型コロナウイルスの影響により、活動の開始が遅れてしましました。そのため最初の活動は8月から少しずつ進めてきました。今年から活動が正常化されました。そこでからジョグトマトで活動を再開しました。今後も手洗い等の感染予防対策を実施しながら、安心して活動できる環境を整えてまいります。

今年度は選挙啓発のCMの制作と、投票率を上げるためのアイデアの提案書を作成を目指して活動を始めました。ミーティングを中心として、活動主体となりながら積極的に取り組んでいます。

1月には提案書の作成のため、富永先生にご協力

内容は満足に行かなかつた。授業中にアンケートを行いました。

は選手に行かなかった人に満足感をもつた。結果としては、当に対する印象を聞くものでした。

「地元をいたたむにこぎあつて、おもむくはれでござる」

投票できなかつた」や、「オンライン上での投票を

また、「誰がどい」というふうな活動をしていました。

わからぬ。もつとありまじい、という章題は、筆者の方で活動してほし

や考へがわからり、有益な結果が得られました。アン

アケートの結果は集計し、2月中に提案書を作成する予定です。

CM制作の方は、新型コロナウイルスの影響によ

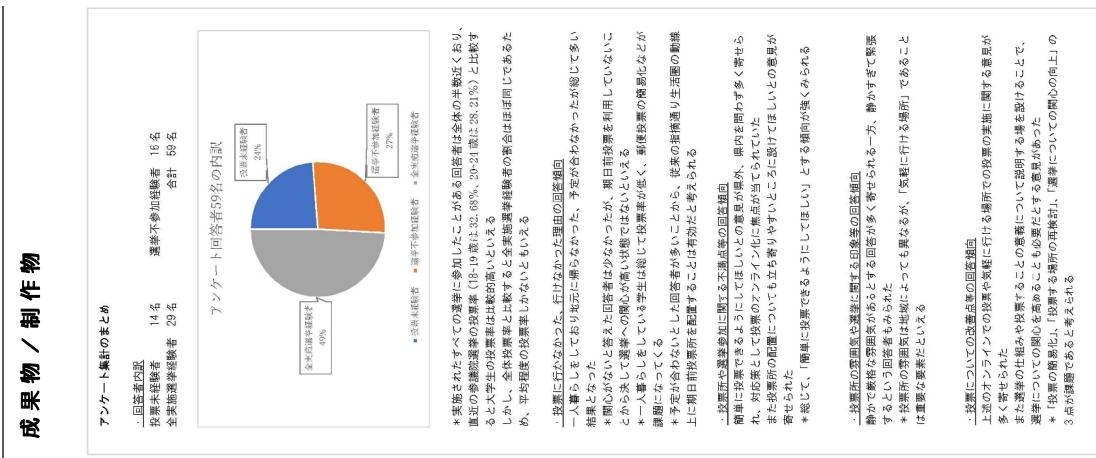
業界構想段階で、メンバーエンバー全員が、どうぞ、お聞きください。

様々なアイデアを考えています。

今年は4月からの活動が出来なかつたため、来年度は十分な時間と一緒に土の活動もあつたりできかうと思います。また、メンバーや、もつと活動を進めて関係を築いていきたいです。

活動を通して学んだこと

運挙に對して興味を示してもらいうことがこんなに難しいことは思いませんでした。ミニーティングで何よりも「これならいけそう」と思えるものではあります。自分達が興味を持った側だったので、興味を持った側がつたため、興味を持った側がつたのです。来年度はもっと効果的な活動ができるよう頑張りたいと思っております。



案旗主体からなのヨメント

伊勢市選挙委員会
玉城町選挙委員会
三重県選挙委員会

学生の皆さんには、コロナ禍で活動の制約もある中、若者の投票率向上を図るために、様々な活動に尽力いただきました。

特に、玉城幹事長の「傍聴や町議会議員との意見交換をはじめ、県が本実施する県民募集中事務への応募、提案書の作成に係るアンケート等の実施及びCM等の啓発ツール作成の検討など、皆さんはしっかりと話し合ながら、チーム一丸となって進めてみたいと思います。」

令和3年は、衆議院議員総選挙に加え、伊勢市長及び伊勢市議会議員選挙が、令和4年には玉城町長選挙が行われます。今後、この活動での経験を活かし、若者の立場から同年代はもとより全世界への選挙啓発にも積極的に関わっていきたいことを期待しています。

また、総務省等が実施する研修会にも参加をすることによって、県内外の学生団体とともに交流し、より幅広い視野で活動を充実させていただければ幸いです。

相当教員より

現代日本社会学部 喜永 富一 様
本活動は、三重県・伊勢市・玉城町の選運管委員会と提携して行う活動です。三選管委員会からは様々な提案を頂きましたが、コロナ禍のため、学外の活動が大きく制限されてしまいましました。それでも、活動に参加した学生は、別場所の報告のようすも、ミーティングを重ね、工夫をしながら活動を行ってきました。これらが、各年度で得られた意見や課題を元に、次年度度でより充実した活動をしていきたいと考えています。

計画の概要実能調査マニフェスト集計結果